

平成 25 年 5 月 27 日

1. 施設運営に関して

(1)利用者支援

- ①施設の稼働日数(利用者出勤日数)は 255 日、祝祭日等におけるイベント販売を 66 回実施した。イベントにおける授産収入は 491 万円、全体の 11%を占める。
- ②利用者の余暇活動の充実を図るため、年 15 回の土曜日出勤日を活用し、苑内において創作活動・調理・ゲーム・化学実験・暑気払いパーティ・節分パーティ等の季節行事を継続して実施した他、横浜グランドインターコンチネンタルホテルにてテーブルマナーの体験、療育手帳の提示による文化施設等の無償利用制度を活用し、上野動物園・相模原市立博物館プラネタリウムや企業の招待事業を活用し江の島水族館への外出を実施し社会体験の場を拡大した。
- ③利用者の自主性や権利擁護を促進するため、自治会活動「仲間の会」を結成し 9 年が経過した。毎月、仲間の会で施設運営の質を向上させるため、テーマに沿って話し合いの場を設けている。今年度からは、より苑生の主体的な発言を導いていくため、小グループで話し合い後、全体で検討する方法に変更すると共に、仲間の会サポーター職員とアシスタント職員を配置し、きめ細かい対応を実施した。
また、仲間の会が主催となり、5 月に保護者招待行事を企画した。保護者へ和洋中のバイキングを振る舞った後、苑生・保護者・職員でゲームを楽しみ、参加した保護者にメッセージカードと母の日クッキー等をお土産としてお渡しするファミリーサポートを実施した。
- ④土曜日出勤の午前中をワーキングスタディ(日常生活を送る上で必要な生活習慣を学ぶ時間)と位置づけ、食事のマナー・ごみの分別・仕事のマナー・みだしなみ・対人マナー等について学習した。日々の支援やワーキングスタディを通して、苑生の社会性は年々向上している。
- ⑤本年度の利用者に支払う平均工賃目標は月額 16500 円、平均工賃支払実績は月額 16508 円であった。

(2)事業運営

- ①本年度の授産収益は 4456 万円であった。(前年より約 598 万円の増収。前年比 115%)

内パン・焼き菓子売上 1466 万円(33%)・デザート売上 541 万円(12%)、お弁当 1649 万円(37%)、明光高等学校売店 323 万円(7%)、<明光高等学校売り上げの内パン 66 万 (20%)・お弁当 138 万 (43%)・デザート 119 万 (37%) を占めている。>、あすなろカフェ 477 万円 (12%) <あすなろカフェ売り上げの内パン 54 万 (11%)・お弁当 401 万 (84%)・デザート 22 万円 (5%) を占めている。>

②理研筑波研究所よりノベルティの受注

理研筑波研究所において開催された一般公開(一般市民に研究の成果を広報すると共に科学の楽しさを体験してもらいイベント)や内部研究会のノベルティとして、陶器を 800 個受注した。また、内部会合のお茶受けに焼き菓子のご注文も頂く事ができた。

③販路の拡大

補助金で車両が 1 台増車されたことに伴い、常勤職員で営業活動を行い、新たな販路 5 ヶ所と取り引きを開始した。

④赤い羽共同募金会より車両(トヨタノア)の助成を頂くことができた。現在車両を 5 台保有。

⑤洲崎福祉財団よりドゥコンディショナー(パンの発酵機)の助成を頂く事ができた。現在 3 台の発酵機を稼働させパンの製造を実施している。

⑥清水基金よりコールドテーブルの助成を頂き、パン工房に設置した。

⑦ヤマト福祉財団より業務用冷凍冷蔵庫の助成を頂くことができた。お弁当製造室に設置していた冷蔵冷凍庫と入れ替えると同時に、苑に設置していた古い冷蔵冷凍庫を不調が続くあすなろカフェに移設した。

⑧横須賀海軍カレー事業所の認可を取得

地元の B 級グルメ横須賀海軍カレーを販売するため、指定の材料を使用したレシピの開発、カレーの街よこすか事業者部会の実食審査を受け、平成 24 年 4 月に「横須賀海軍カレー提督の料理番」という商品名で事業所の認可を得た。牛バラ肉をじっくり煮込み、本格的なスパイスとフルーツチャッネをブレンドした中辛のカレーである。イベントを中心に販売し大変好評を得ている。また、海軍カレーの販売実績(半年で約 1 万食)が認められ、平成 24 年 12 月に、新たに海軍カレーパン認定事業所としての審査に応募し認可を得た。現在 3 種の海軍カレーパン(焼きカレーパンフワリ・揚げカレーパンカリリ・サクリ)を販売している。

⑨きらっと輝く製品コンテスト 最優秀賞受賞

神奈川県内の就労支援事業所で製造する商品(食品・非食品部門)の質を競うきらっと輝く製品コンテストにおいて、ジャム・焼き菓子セットが食品部門で最優秀賞を受賞した。

⑩あすなろカフェにおける業務の幅を拡大

十数年に亘りあすなろカフェの隣で運営をしていた食堂が6月に撤退し、来客数が著しく伸びた。

また、ロイヤルカスタマーの紹介等を経て、日中の喫茶店運営のみでなく、夜の宴会・会合のお弁当注文・自衛隊見学者に対する海軍カレーランチの提供、上級海曹会よりカレースープの受託・年5回程度の土日のカフェの営業等業務の幅が拡大した。

(3)その他

①あすなろ向上委員会の発足

平成24年4月、あすなろ学苑のサービス・質の向上を図るため、常勤職員7名よりあすなろ向上委員会発足の申し出があった。向上委員会では本年度の目標をあすなろ学苑の情報発信と販路拡大に定め活動を行った。あすなろ学苑の商品案内を地域の企業や法人が取り引きを行っている様々な機関に発送すると共に、教育機関、CSRに積極的な企業に営業活動を実施し新たな販路の獲得に結びついた。また、障害福祉に対する啓蒙活動の推進、あすなろ学苑の活動を地域に発信するため、平成25年5月25日逗子市なぎさホールにて自主上映会「幸せの太鼓を響かせて(長崎県、社会福祉法人南高愛隣会の利用者の経済的・社会的自立に焦点を当てた実話)」を開催する予定で準備を進めている。横須賀市、逗子市、横須賀市教育委員会より後援を頂く事もできた。